

ジョン・デューイ

『民主主義と教育』 (1916年) の  
全体像

life と democracy

growth 「エンジョイ○○」

occupation オキュペーション

disposition ディスポジション

## デューイ『民主主義と教育』（1916年）の全体像

あなたの教育学をつくるために。問題に向き合うとき、横にいる相談相手の一人。加藤「[教育学の全体像](#)」

英文は、DEMOCRACY AND EDUCATION by John Dewey 1916

<https://www.gutenberg.org/files/852/852-h/852-h.htm>

段落番号をつけて、ノートにまとめていく。

構造的。

life ライフの連続・累積が大きな流れ。

人類：社会の系、集団の系、個人の系 ←生物として

哲学的に論じるときには、life →experience 経験

政治の話題は『民主主義と教育』には少ない（第7章五で少し国家論あり）。デモクラシーとは狭く政治の意味でなく人類のあり方。政治論は『公衆とその諸問題 The Public and its Problems』など。

デューイがたたかったものは分断と孤立。「概念」もバラバラになっていくのをつなぎ直した。unity

流れの意味 基準とゴール

**民主的基準**（社会をはかる尺度）（望ましい諸特徴）：第7章④上136ページ2行目

「意識的に共有している関心が、どれほど多く、また多様であるか、そして、他の種類の集団との相互作用が、どれほど充実し、自由であるか」

↓

**望まれる変化**第23章⑳ 下184ページ6行目～

「望まれる変化の意味を形式的表現ではっきり示すことは難しいことではない。それは、あらゆる人が、他の人々の生活を—そう生き甲斐のあるものとするような仕事に従事（be occupied）しており、したがって、人々を結びつけて一緒にする絆が—そうはっきりと現われる—人々の間の隔ての柵をとりこわす—ような、そうい



disposition 性向、傾向 tendency intellectual and social (moral) . . .

#### 第4章「成長としての教育」

⑤ 生命のあるところには、すでに強く激しい活動力が存在している

成長は、その活動力がなすもの

⑧可塑性 自分の性向 disposition 心的傾向を保持しながら周囲に同調する

さらに深く . . . 経験から学ぶ能力 望ましい経験を持ち越す

徳を生み出す性向は、衝動か習慣か知性か—アリストテレス『ニコマコス倫理学』は「習慣」

# デューイの民主主義と教育

## 目次

第一章	生命に必要なものとしての教育	一一
第二章	社会の機能としての教育	二五
第三章	指導としての教育	四六
第四章	成長としての教育	七四
第五章	準備、開発、形式陶冶	九三
第六章	保守および進歩としての教育	一一六
第七章	教育に関する民主的な考え	一三三
第八章	教育の諸目的	一六二
第九章	目的としての自然的発達と社会的に有為な能力	一八〇
第一〇章	興味と訓練	二〇〇
第十一章	経験と思考	二二三
第十二章	教育における思考	二四三
第十三章	教授法の本質	二六一
第十四章	教材の本質	二八五

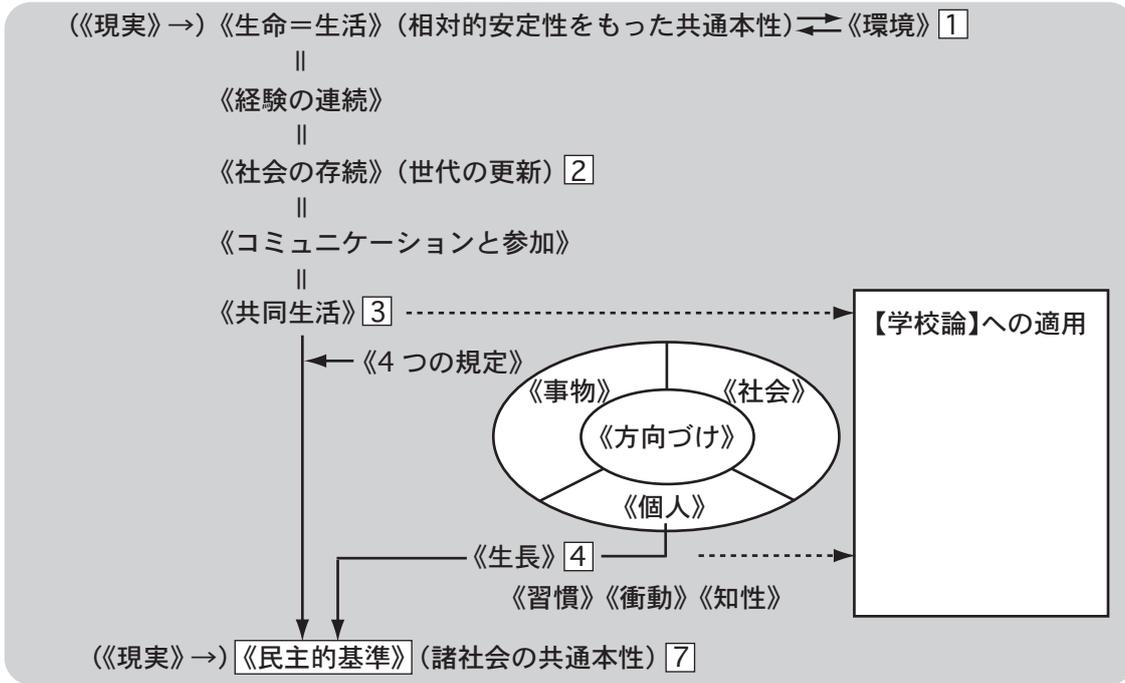
### 〔以下下巻〕

第一章	教育課程における遊びと仕事
第二章	地理および歴史の意義
第三章	教育課程における科学
第四章	教育的価値
第五章	労働と閑暇
第六章	知的学科と実際の学科
第七章	自然科と社会科・自然主義と人文主義
第八章	個人と世界
第九章	教育の職業的側面
第十章	教育の哲学
第十一章	認識の理論
第十二章	道徳の理論

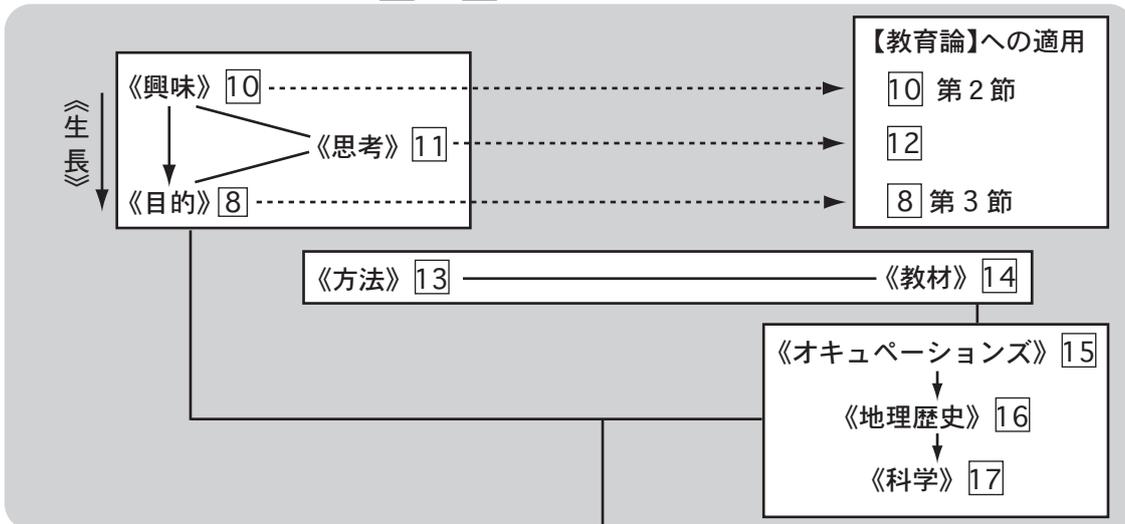
訳者解説

デューイ『民主主義と教育』（1916年）構成＝体系図（0は章をあらわす）

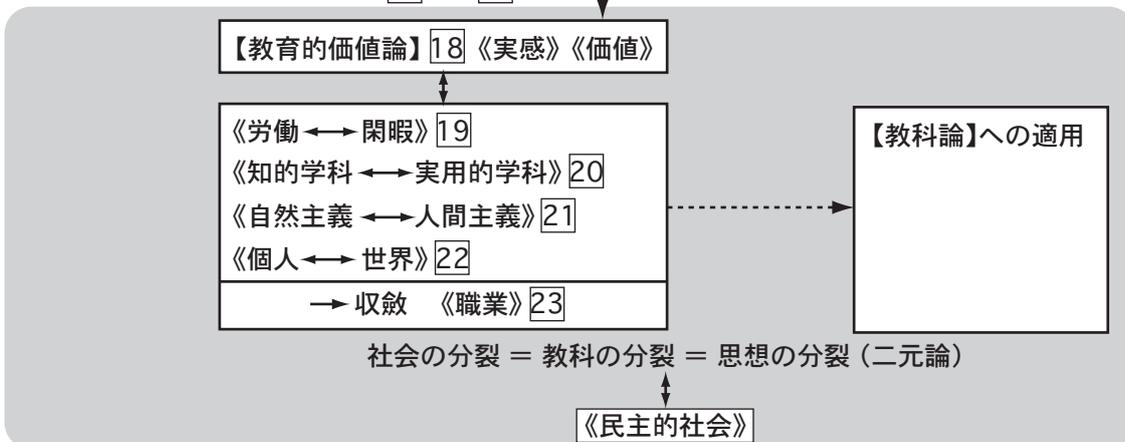
I：【民主的基準の導出過程論】（1～7）



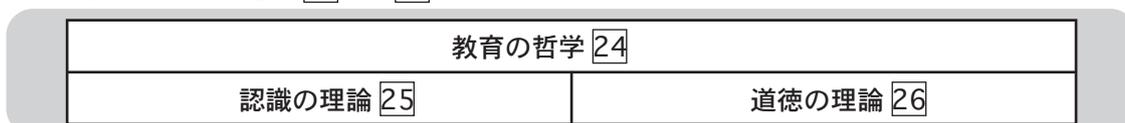
II：【民主的教育の本質論】（8～17）



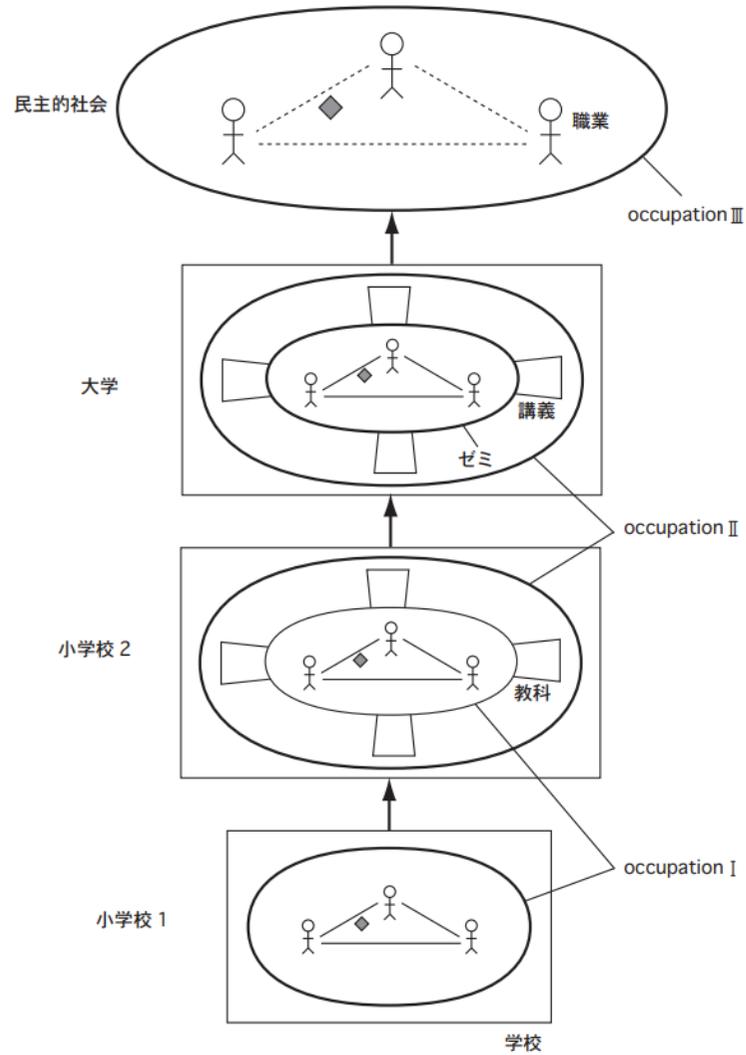
III：【民主的基準の実現論】（18～23）



IV：【哲学的総括論】（24～26）



Occupations の発展（総合学習からゼミ、そして民主的社會へ）



☆カリキュラムとしてみた場合、子ども・生徒の主体性を軸にすると、経験カリキュラム、コアカリキュラムの形態をとっていく。

☆上下に、教材の系統性などある。共通目的も、授業目標・学級目標～学校教育目標→日本国憲法→国連憲章

教材の連続性と「見方・考え方」最終回 <http://kodomo.kitanagoya.org/eye/eye/2002.pdf>

☆それぞれの活動で相互の「エンジョイ〇〇」が育っているだろうか。

世界・日本・地域の問題

ぼけなんか怖くない グループホーム 「エンジョイ着付け」の直井さん

実社会 企業、行政

学年会

メッセナゴヤ

卒研ゼミ

教育実習 クラスの把握（「座席表」）

業界研究会

Team のグループ

オープンキャンパス

学年

クラス、部活、委員会、総合的な学習／探究の時間

泥・水・砂あそび 土山（保育園）



富岡美織「から子どもたちが得るもの」（『生活教育』2019年2月号 pp.26-35） 5MB

<http://www.nisseiren.jp/kibouwo/tomioka.pdf>

eYe「希望の根っこ」2019年3月号 pdf版

<http://nisseiren.jp/kibouwo/1903nekko.pdf>